

せいしんがい報

2008年10月1日 第78号

注目記事

◆1ページ◆ 社会福祉法人誠心会設立30周年
記念行事ダイクルーズ

救護施設やしおみ荘

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
TEL(0246) 89-3333 FAX(0246) 89-3334

知的障がい者通勤寮 レジデンスなごそ

〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
TEL(0246) 78-1336 FAX(0246) 65-4160

指定相談事業・地域生活相談室せんとら

〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
TEL(0246) 65-5222

知的障がい者更生施設ふじみ更生園

ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384
TEL(0246) 89-3400 FAX(0246) 89-3454

虹のかけはし

〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7 植田ビル2F
TEL(0246) 77-2885 FAX(0246) 77-2886

ワークセンターしおさい

〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
TEL(0246) 73-2077 FAX(0246) 73-2078

手打ちうどん 天真庵

〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
TEL(0246) 77-2033

ヘルパーステーションあくていぶ

〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7 植田ビル3F
TEL(0246) 62-8810 FAX(0246) 62-8810

児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ

〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
TEL(0246) 73-2033 FAX(0246) 73-2034

社会福祉法人誠心会設立30周年記念行事ダイクルーズ



平成20年8月8日(金)今年は法人設立30周年としての大きな節目を迎え、暑気払いの意味も込めて誠心会特別行事が行われました。当日は小名浜いわきら・ら・ミュウにて誠心会職員一同が貸切の遊覧船に乗船し真夏のダイクルーズを楽しみました。出港後、船内では松崎有一理事長より職員への労いの言葉、並びに福祉の現状から政治情勢まで多岐にわ

たご講話を頂きました。乾杯の後は会食に移り、豪華な食事と昼下がりのオーシャンビューを楽しみ、またダイクルーズスタッフからのご厚意でカモメの餌付け用のお菓子が準備され、デッキの上からカモメがお菓子目当てに集まってくる様子を見ては皆ではしゃいでいました。夏の暑さと日頃の疲れが吹き飛んだ今回のダイクルーズ、職員にとっても大きな節目となり心機一転して仕事に励みたいと思います。



夏祭り ~タヒチアンダンスにメロメロ~

やしおみ荘



夏のイベントやしおみ荘夏祭りが地域の方々の御協力を得て、8月3日(日)に行われました。今年も天候にも恵まれ、夏の日差しが照りつける

中、恒例の和太鼓の音が響きわたりいよいよスタート。

今回初めて参加していただいた、スタジオ・ヌイ様によるタヒチアンダンスが始まると素敵な衣装に身を包んだダンサーに利用者をはじめ地域の方々から歓声が上がリ、目がくぎづけ。その後も、民謡舞踊・じゃんがら念仏踊りと続き、おはやしにあわせ盆踊りの輪ができ、祭りも盛り上がり絶好調!!志摩幸子さんによる歌謡ショーが行われ、みんなノリノリ。花火が上がリ、いよいよ終盤。抽選会が行われ一喜一憂され利用者の方も地域の方々も一体となり大いに盛り上がりました。今年も地域の皆様・ボランティアの方々の御協力により盛大に開催することができました。この場をお借りして皆様の御協力に感謝致します。

第12回ハートフル・イン・やしおみ

やしおみ荘

7月25日（金）「第12回ハートフル・イン・やしおみ」が開催されました。天候が心配されましたが、雨も降ることなく、無事当日を迎えることが出来ました。上遠野、入遠野、磐崎小学校の3校から18名の子供たちが参加しました。対面式・開会式では利用者と子供たちの表情にも緊張した面持ちが見られました。施設長による福祉講話を真剣に聞き、スポーツ実演では、車椅子バスケットの講師の方をお迎えし、子供たちが実際に車椅子に乗って、バスケットボールの体験を行いました。ここでしかできない貴重な体験を楽しんでいるようでした。ふれあいタイムでは、利用者と子供たちが協力し合って旗づくりをしました。試行錯誤をしながら出来上がった旗は、それぞれに個性がありました。午後は、福祉体験として車椅子に乗車し、その介助方法を学び、目隠し歩行やインスタントシニア等の体験をし福祉に対する理解を深めました。

終始和やかな雰囲気の子供たちと過ごしていた利用者から、「子供たちはとても可愛かった。また来て欲しい。」との声が聞かれ、参加した子供たちからは、「ここには中学生になったら来られないの？



今年もすごく楽しかった。」と話してくれました。

このハートフル・イン・やしおみの体験を通じて、子供たち一人一人が学び、発見したものが今後の様々な場面に活かされて欲しいと思います。

行事を進めるにあたりご理解、ご協力いただいた皆様方にこの場をおかりしてお礼を申し上げます。

フレンドリーシップinふじみ

ふじみ更生園

7月21日（月）、大倉保育園の園児たちを招き、フレンドリーシップinふじみが開催されました。



可愛らしいお遊戯の披露や金魚すくいなどのレクリエーション。グラウンドで思いきり楽しんだ後はお待ちかねの昼食です。おいしいカレーライスをいただいたあとは、ひと休み…と思いきや、園児たちを囲むようにみんなが集まり楽しくお話をしていました。

午後は交流ホームにてリズム遊び。音楽に合わせての電車ごっこでは、園児たちから「お兄ちゃん、お姉ちゃん」と列に招き入れられみんな嬉しそうな笑顔を浮かべていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、園児たちともお別れ…。寂しそうな表情をみせながらも、「また来てね!」と大きく手を振る姿。心温まる一日となりました。

ボランティアスクール

ふじみ更生園

9月2日（火）にふじみ更生園でボランティアスクールが行われました。

何ヶ月も前からこの日を楽しみにしている利用者もあり、入遠野中学生が到着すると「中学生来たー!!」と大騒ぎ。

交流会が始まり、中学生よりよさこい踊りと合唱が披露されました。一緒に歌う方、一緒に踊る方、

控え目に手拍子を打つ方などそれぞれ楽しんでいるようでした。

その後グラウンドも使用しレクリエーションを行いました。ボール遊び、風船遊び、輪投げに分かれて交流を深めました。秋空ににぎやかな声が響いた一日でした。

いわき踊り勿来大会5位入賞

ふじみ更生園・虹のかけはし・天真庵・しおさい・レジデンスなこそ・グループホーム・ケアホーム

7月26日（土）PM6：00の花火を合図にドンワッセの音頭に合わせて、いわき踊りが始まりました。揃いのハッピー姿で、元気に楽しく、笑顔で踊り続けることができました。

誰もが「今年が入賞できないだろう」と思ってい

たのですが、なんと今年は5位に入賞することができました。楽しく参加できただけで満足していた皆も、来年こそは1位目指して頑張りたいと話していました。

ふじみの森フェスティバル

ふじみ更生園

9月13日（土）、ふじみの森フェスティバルが開催されました。

あいにくの曇り空ではありましたが、年に一度の大イベントを心待ちにしていた方も多かったのではないのでしょうか。

オープニングを飾った東田保育園児による元気いっばいの太鼓演奏や、30周年を迎える滝ふじ会による華麗な踊りは、イベントに花を添えて下さいました。

また、毎年恒例となりました菊池章夫さん、志摩幸子さんのコンサートでは楽しいトークと素敵な歌声が披露され、会場の皆さんが心を奪われているようでした。

そんな素敵なゲストに負けじと登場したのが、レジデンスなこそ「よきこいカラーズ」と、ふじみ更生園バンド「メモリーズ」。大きな拍手と共にアンコールの声をいただき、緊張の表情もいつしか得意



げな表情に変わっていました。

模擬店にはおいしい食事が並び、お腹いっぱい、胸いっぱいの素敵な一日となりました。

地域の皆様、多くのボランティアの方々、及び協賛していただいた方々に支えられ、今年も大盛況のもと幕を閉じることが出来ました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

小名浜花火大会

いわき市最大級のイベント、「小名浜花火大会」が8月2日（土）に開催され、ワークセンターしお



さいのやきうどんと虹のかけはしのバーガーパンを販売しました。

不安定な天候が続いており、当

虹のかけはし・ワークセンターしおさい

日の朝も小雨が…しかし、日頃の行いが良いのか昼には晴れ、無事に開催されました。

夕方から少しずつお客様も増え始め、目の前で調理しているやきうどんはあっという間に長蛇の列が！花火を見ている時間もないほどに調理に追われました。バーガーパンも終盤にはお客様が増え、たくさんの食数を販売することができました。

今年も保護者・ボランティアのご協力があり、無事に販売を行うことができました。紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。

スイカ割り

デイサービス ちゃーむ

8月21日（木）午前中、スーパーにスイカを買いに出かけ、午後からスイカ割りをしました。

みんな自分の順番が今か今かとワクワクしながら待ち、大きなスイカを割ろうと一生懸命でした。低学年のお友達からスタートし、少しずつ崩れてきたス

イカを高等部のお友達が、力強く割ってくれました。

スイカ割り終了後には、おいしいスイカをおやつとしていただきました。みんなで食べたスイカはおいしかったようで「おかわり」という声がたくさん聞かれました。

日帰り旅行 ～ホテル塩屋崎～

やしおみ荘

9月11日（木）、26名の利用者と職員8名の総勢34名でホテル塩屋崎へ日帰り旅行に出掛けました。当日の朝は晴れていましたが、出発の頃になって天候が下り小雨交じりの中バスにてホテルへ移動しました。待ち遠しい旅行であった為か、利用者みなさんは天候を気にすることなく嬉しそうな表情を見せていました。ホテルの会場では、和食のお膳がみなさんを待っており、席に着くとそれぞれ和やかな顔を見せ、喜ばれていました。乾杯の挨拶で会食が始まると、始めの内は食べるのに夢中になってしまい、しばしの静寂も見られましたが、そのうち「うまい」「おいしい」

「また食べたい」などの声もあちこちから聞こえてきました。会食が落ち着くとカラオケが始まり出し、歌う方の曲に合わせて踊ったり、手拍子を取ったりと楽しい時間を過ごしました。帰りの時間になると、少し寂しげな様子も見られましたが、ロクに「来年も来たいね」と気持ちを持ち替えておられました。



行ってきました日本海 ～新潟日帰り旅行～

虹のかけはし

9月19日（金）利用者、保護者、職員31名で新潟方面へ日帰りでの旅行にでかけました。行きのバスの中では、ビンゴ大会、カラオケと皆さん大盛り上がりでした。



最初に到着したマリニピア日本海では、まずイルカショーを見ました。イルカのダイナミックなジャンプに歓声が上がリ、しぶきがかかると今度は悲鳴が!!その後はラッコの餌の時間や、ゴマフアザラシの昼寝などを見学し、楽しく時間を

過ごすことができました。

昼食は、一流ホテルのレストランでバイキングを堪能しました。料理は数十種類以上あり、飲物、デザートと目移りしながらも思う存分食することができました。

新潟ふるさと村では、新潟地方の四季を学習し、降雪体験ができる「雪国の庭」では降ってくる雪に触れることができ、感動を味わいました。そして最後にお土産を買いました。それぞれ、家族や旅行に来られなかった利用者のために、真剣に品定めしている姿が印象的でした。

あっという間に時間が過ぎ帰路へとつきました。帰りのバスでも皆さんでビデオ鑑賞をしました。日頃頑張っている作業での疲れを十分に癒すことができ、また、次の作業への意欲を盛り上げることもできたとても充実した楽しい旅行でした。

日帰り旅行 ～那須ハイランドパーク～ワークセンターしおさい



9月25日（木）に、しおさい利用者と職員の計12名で、日帰り旅行へ行ってきました。行き先は南ヶ丘牧場と那須ハイランドパークです。牧場では馬に餌をあげたり、新鮮な牛乳で作られたお菓子などをお土産に購入したりと、短時間でしたが牧場の雰囲気をそれぞれ満喫していました。牧場を出てももなく、みんなが楽しみにしていた那須ハイランドパークへ到着!!空中を回る

ブランコや船で川を下っていくアトラクション等、「乗っても大丈夫かな?」という職員の心配をよそに、利用者たちは平気な顔をしてアトラクションを楽しんでいました。チケットをすべて使い切り、お土産もたくさん買って、思い残すことはないくらい遊んできました。毎日作業に励んでいる利用者たちにとってリフレッシュできた一日となりました。

日帰り旅行in東京お台場

天真庵

9月24日（水）、年に1回のお楽しみ、日帰り旅行に行ってきました!毎年、旅行の日には雨にぶつかっていた天真庵ですが、今回は快晴。

行きのバスの中では、それぞれに会話を弾ませたり、ビデオに熱中する利用者さんたち。フジテレビの球体が見えてくると、嬉しそうに歓喜の声を上げていました。フジテレビの中を見学し、お楽しみのお土産タイム!!それぞれ、お家へのお土産を真剣に品定め。もちろん自分へのお土産も忘れていません。Tシャツやメモ帳、ぬいぐるみなど、お財布と相談しながら買っていました。

お昼はワシントンホテルでのバイキング。おいしそうな食べ物がいっぱい並ぶ中、つつい食べ過ぎてしまう利用

者さんも。

思う存分食べた後は、台場1丁目商店街へ。短い時間でしたが、アイドルやキャラクターのグッズをしっかりと買っていました。



楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまうものですが、また来年も楽しみに、これからも頑張ろうと思う天真庵一同でした。

3事業所合同保護者との懇談会

虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

平成20年7月11日（金）植田駅前「ホテルアクセス」にて、3事業所合同の保護者との懇談会が行なわれました。

作業を終えた後の夕方、会場に集まり、保護者と共に席に着き、スタート。

美味しい料理が目の前にずらり

と並び、普段なかなか話が出来ない別々の事業所の利用者同士が笑顔で会話を弾ませていました。お待ちかねのカラオケも大いに盛り上がり、時間が足りないうらいでした。

保護者、利用者、職員共に、楽しいひと時が過ぎた時間でした。



除草ボランティア

レジデンスなこそ

9月7日（日）10時からレジデンスなこそ敷地内の除草作業を行いました。保護者の方々にも多数参加していただき、利用者も率先して作業に参加しました。いつも手で行っている除草作業も、保護者の皆さんが草刈り機械で行ってくれたので、短時間できれいになり、とても助かりました。「お礼に」と、利用者が調理実習の腕前

を披露し、カレーライスを作りました。保護者の皆様からも「おいしい」と褒められ、皆も大満足でした。

きれいになったグラウンドでキャッチボールをしたり、自転車の練習をしたりすることができました。この場をおかりして、ご協力いただいた保護者の皆様方にお礼を申し上げます。

防災訓練

レジデンスなこそ・ヘルパーステーションあくていぶ

9月28日（日）勿来消防署のご協力のもと、レジデンスなこそで防災訓練を行いました。近くで見る消防車に、利用者も近所の子供たちも興味津々でした。



始めに、施設内からの出火を想定して避難訓練を行いました。消防隊員の方々からは「もし火事になったら、自分はどういう行動をすればいいのか、いつで

も考えておくこと。第一に火や煙を出さない生活をするのが大事である」と話があり、皆、真剣に聞いていました。次に心肺蘇生法の勉強会をし、倒れている人で意識がない人、呼吸をしていない人に救急車が来るまでに出来ることを学習しました。人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの使い方など人形を用いて実際に行い、初めは恥ずかしがっていた利用者も、消防隊員の「この人（倒れている人）の命を救えるかは、あなた次第である」という言葉に真剣な表情になりました。

この貴重な体験を、利用者、職員共に、今後の生活に活かしていきたいと思えます。

国際福祉機器展見学の旅

ヘルパーステーションあくていぶ

9月24日～26日までの3日間、東京ビックサイトにて国際福祉機器展が開催された事が大勢の方がご存知でしょう。この機器展に移動支援事業の利用者が参加する事となりました。車イスの方が列車を利用しての外出に多少不安がありましたが、駅の様々な対応のおかげで無事外出は実現しました。乗り継ぎにはスピーディなスロープの利用、エレベーター、エスカレーターのスムーズな案内、次の駅への連絡等、車イスの方との外出で様々な現実を目のあたりにしました。実際に出かけると改善してほしいこともいろいろありました。ご本人が一番現実を直視されたのではないのでしょうか。また、この16カ国、530社、団体が参加し22,000点もの福祉機器には圧倒されました。これらの福祉機器が様々な障害のある方の身

体的、精神的負担の大きかった動作や生活行為の労力を減少させることが出来、生活の質（QOL）の向上が目指せることを期待したいと思います。一人一人の自立に我々も微力ながら貢献できる事業所として前進していきたいと思えました。今回の外出を通して利用者のMさん、あなたの力強い歩みに勇気、元気をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。



東北地区知的障害者福祉協会施設職員研究協議会(青森八戸大会)に参加して

ふじみ更生園 浄土 洋輔・永井 千尋

平成20年8月20日～21日、東北地区知的障害者福祉協会施設職員研究協議会に参加しました。

1日目は、「障害者自立支援法移行への現状と課題」についての中央情勢報告であり、自立支援法の抜本的見直しに向けて、障害程度区分、報酬単価等の現行の法律の問題点と、どう変えるべきか、日本知的障害者福祉協会の案があげられました。

次に、「青年期・成人期の退行、早期老化をどうとらえ、支援するか」の基調講演があり、入所施設の在り方や、青年期・成人期の利用者に対しどのようなアプローチで支援しているのか、実例を挙げ説明がなされました。

2日目は、第3分科会「新体系移行への準備と移行後の実情について」、第4分科会「地域生活を支える支援の実情について」に参加しました。第3分科会では、入所更生から新体系へ移行した事例発表

があり、なぜ新体系だったか、自立支援法をどう捉え、入所施設の可能性を見出し、どのように新体系へと移行したか、第4分科会では、山形市での自立支援協議会の現状と課題、いわき市のグループホーム・ケアホームの現状と実情について発表がありました。

現在刑務所の服役囚の6割が学習障害で、これからは刑務所でもケアマネジメントが必要であり、我々福祉職の人間も本人と向き合う専門的なスキルを身に付けて行かなければならないとの話など、知らなかった情報を聞き、いかに自分が知識不足であったかを自覚し、自己研鑽の必要性を改めて考えさせられました。自分にどのような支援ができるのか、そのために今何をしなければならぬのか、それを常に考えながら日々支援に当たっていこうと思います。

障がい者相談支援従事者養成研修に参加して せんとらる 矢吹 美和

9月4、5日と8日～10日の5日間にかけて、福島市で平成20年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者養成研修に参加しました。

講義の1日目には、障害者自立支援法の概要や地域自立支援協議会の目指すもの、相談支援事業と相談支援専門員の役割について話がありました。2日目には障がい者ケアマネジメント概論、障がい者の地域生活支援の事例、相談支援における権利侵害と権利擁護、障害者自立支援法における個別支援計画の作成について講義があり、実際に県内各地で相談支援に従事している方が講師となって講義していただき、相談支援の現場の声が、とても多く聞かれた

講義でした。3日目以降は、実際の事例を通してケアマネジメントの展開をグループごとに分かれて演習しました。

今回の研修を受けて、地域と密接に関わる相談支援事業の現状と課題が理解できました。障がい者の地域における生活を支援するために、ケアマネジメントを希望する方の意向を踏まえて、福祉・保健・医療・教育・就労などの幅広いニーズと、様々な地域の社会資源の間に立って、複数のサービスの供給を確保していくこと、さらには社会資源の改善や開発を推進していくことが大切であることを学びました。

編集後記

記録的な猛暑の夏が、ようやく終わったと思ったら、急に寒くなってしまう、体調を崩しやすい季節になりました。紅葉も見頃になり、本格的な冬を前に、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋、食欲の秋…色々な秋を満喫したいところです。

冬に向かって何かと蓄えをしていく時期ですが、脂肪だけは蓄えたくないものですね。

これからの予定

やしおみ荘

- 10月
- ◎一泊旅行 2日～3日
- ◎市民総ぐるみ運動
- ◎ウォーキング 20日
- ◎社会性自立支援 22日

- 11月
- ◎やしおみ荘へ行こう
- 12月
- ◎障がい者の日記念行事参加
- ◎忘年会
- ◎クリスマス会
- ◎一時帰省 20日～1月5日
- ◎未帰省者食事会

ふじみ更生園

- 10月
- ◎総合防災訓練 3日
- ◎植田歩行者天国 13日
- 11月
- ◎健康ウォーキング 3日
- ◎コスモス通り一泊旅行13～14日

- ◎さくら通り一泊旅行 20～21日
- ◎日帰り旅行 下旬
- 12月
- ◎障がい者の日記念行事 上旬
- ◎クリスマス会 中旬
- ◎忘年会
- ◎餅つき 下旬
- ◎冬期一時帰省

虹のかけはし

- 10月
- ◎いわき明星大学学園祭 25日26日
- 11月
- ◎わいの家フリーマーケット8日
- ◎遠野なんでも市 9日
- ◎ポーリング大会 24日
- 12月
- ◎合同忘年会（保護者との懇談会）
- ◎忘年会
- ◎年末年始休暇 29日～1月3日

ワークセンターしおさい

- 10月
- ◎植田歩行者天国 13日
- ◎いわき明星大学学園祭25日26日
- 11月
- ◎かべやえんじょい祭り販売8日
- ◎カラオケ大会 24日
- 12月
- ◎合同忘年会（保護者との懇談会）
- ◎年末年始休暇 29日～1月3日

天真庵

- 12月
- ◎合同忘年会（保護者との懇談会）

レジデンスなこそ

- 12月
- ◎一泊旅行
- ◎忘年会

グループホームケアホーム

- 12月
- ◎一泊旅行